

第27回 徳島県芸術祭主催公演

第26回

邦楽大会



第48回国民体育大会スポーツ芸術協賛事業

■とき／平成5年10月24日(日) 午後1時開演 ■ところ／徳島県郷土文化会館 主催 徳島県邦楽協会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会

ごあいさつ

徳島県邦楽協会会長



春 名 完 二

激変を多く抱えた平成五年、徳島では第四十八回国民体育大会が行われます。徳島県芸術祭主催公演第二十六回邦楽大会を、その開会に併わせ国民体育大会スポーツ芸術協賛事業として行われることになりました。国民体育大会スポーツ芸術はその開催地の特色を現わすという意味におきまして、徳島県邦楽大会も本年度は特に徳島らしさを現わした行事としてごさいます。それで行事内容は、阿波を表現した曲、または邦楽協会の特色を出した演目を取り入れました。

昨年第二十五回記念大会に特別出演をお願いしてありました、五世杵屋佐吉氏の出演が出来ませんでしたので、先生をお偲びし先生のお作りになられた「阿波踊り慕情」を七世杵屋佐吉氏に特別出演をお願いいたしました。

また邦楽協会あつての独特の越後獅子、長唄、三曲のそれぞれ持ち味を生かしたように編曲した越後獅子を出しております。

当日は国民体育大会開会式と重なっておりますが、県民の皆様方はもちろんのこと、国民体育大会で御来県の方々に、ご観賞していただきますよう心からお待ち申し上げております。

祝 辞



徳島県芸術祭執行委員会会長
徳島県教育委員会教育長

近 藤 通 弘

平成五年度第二十七回徳島県芸術祭主催公演として、さわやかなこの季節に第二十六回県邦楽大会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

邦楽の普及発展と新しい世代への伝承を目的として、昭和四十二年県邦楽協会の発足以来、皆様方には邦楽演奏を通して、本県芸術文化の振興発展に格別の御尽力を賜っておりますことに衷心より敬意と感謝を表する次第であります。

御承知のように日本古来の芸術の中でも、とりわけ私たちの先人に愛され親しまれてきました邦楽は、我が国独特の精神文化の高揚に大きく貢献してまいりました。

近年、やすらぎ・潤いといった心の豊かさを求める気運が一層の高まりをみせております。

これは、物資的要求がある程度満たされつつある中で、人々が精神的・文化的豊かさを追求するようになり、文化的志向の生き方、考え方が顕著になってきた現れでもあります。

こうした中で各流派の方々が、日頃錬磨されました至芸を披露されまことは、邦楽愛好者をはじめ、伝統芸能に関心のある多くの県民の方々の注目するところであります。

この大会が多大の御成功を収められ、次の世代を担う若い人たちの大きな心の糧となり、本県邦楽協会の今後の御発展につながりますことを祈念いたしますとともに、県下の芸術文化振興のために一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

特別出演

七世

長唄 杵屋 佐吉

1 謡曲 (喜多流喜陽会)

仕舞

八島

シテ中野広二

地頭
地謡

玉之段

シテ吉田文明

八	藤	福	狩	棚	日	九	佐	新	木	元	鎌	天
水	本	田	野	橋	下	鬼	野	居	下	木	村	野
シ	多	愛	直	芳		淳	弘	幸	健			義
メ	慶	子	喜	明	守	二	実	久	徹	二	博	雄
子												

2 端唄・俗曲 (東会)

徳島民謡

徳島小唄

唄

阿波風景唄

杵屋佐伴苗

三味線

杵屋佐田篠

四世杵屋佐吉作曲

吊り橋

笛 四宮信行

薩囃子 望月太意輔

3

琵琶

琵琶

(錦心流琵琶飲水会)

島津兵庫作詞

敦

盛

山中祥水
吉本房水

4

義太夫

義太夫

(阿波人形浄瑠璃振興会)

伊達娘恋緋鹿子

(城北座)

櫓のお七

太夫 大和君代
三味線 保井治夫
人形 森田悦子

森田悦子
稲崎利子
速水玲子
敷島富子
東瞳

5

三

曲

(八綾乃会、美風会)

松坂検校作曲

楓の花

箏本手

尺八

榊本眉風

井内久美子

大西晴一

川真田英子

笠井晴風

山田笑子

桜井晴風

八田雅子

井上晴眉

杉本和美

井上晴調

箏替手

山上朋代

8 吟 詠

吟 詠 (岳心流吟詠会)

林 直人 作

阿波八景

吟 近藤 涼心

鎌田 涼心

尺八市原 颯 恂

詩 舞 (大和陽心流瑞城会)

和 歌

眉のごと(船王)

舞 中井 佳蓉

米田 佳耕
横田 佳雲
高島 佳幽
森 佳嵐

吟 松崎 大圓

詩 舞 (揚心流日本朗詠会)

岡本 対南 作

徳島公園

舞 川崎 揚匠

竹田 揚節
井上 揚晃
上野 揚伯
桑田 揚整

吟 斉藤 揚 叡

劍 舞 (大和陽心流瑞城会)

頼 山陽 作

本能寺

舞

英 虎 城
高 橋 基 城
坂 羽 城

吟

山 田 大 覺
細 井 大 岳

9 筑前琵琶 (旭城会)

三世橋 旭翁 作曲

巡礼お鶴

工 藤 旭 城

10 小 唄 (堀派柳会)

(曲 目) (唄)

(糸)

1 水 た ま り 堀 小 静 敏

堀 小 勇 静
替 堀 小 満 嘉 代

2 青 柳 堀 小 清 水

堀 小 勇 静
替 堀 小 満 嘉 代

3 滝 の 白 糸 堀 小 満 嘉 代

堀 小 勇 静

花の歌

高野喜長作曲

曲

(財団法人日本当道音楽会徳島県支部 檉原社中)

第一箏 柿原 箏 洋

鈴木 箏 美

前川 直子

第二箏 日野 優子

川口 朋美

十七絃 檉原 春 箏

尺八 浜野 羊山

原郷 恵山

蚤小舟

作者不詳

曲

(竹友社 銀明会徳島支部)

三絃 大櫛 君子

元木 澄子

飯田 一美

中川 恵子

長谷川 道

箏 郡 君子

板東 津貴子

内藤 比露枝

尺八 大櫛 亜童

13

三

曲

(葉風会・都山流徳島県支部)

四重奏曲

森岡章 作曲

阿

波

箏独奏

澤田峰葉

尺八

第一箏

桑野公葉

久保京子

第二箏

矢部理葉

武岡黄葉

独奏
十七絃

澤田貴葉

十七絃

北島浩葉

三絃

澤田青葉

14

三

曲

(財団法人 日本当道音楽会)

菊住録声 作曲

う

ず

潮

第一箏

櫻原春箏

伊勢美都瑠
伊勢美都瑠
仁木古都風

第二箏

猪井惠朱
田中古都夕華
吉崎夕華

濱野羊山
原郷惠山
田中欄山
村上聖山
杉口珖山
英宗雨山
坂東作山

昭和五十六年一月

ふじ たけし 作詞

五世 杵屋 佐吉 構成・作曲

阿波踊り慕情

上調子 杵屋 佐仁篠

三味線
七世

唄

松 松 松
永 永 和
和 世 世
繁 幸 幸
松 永 和
永 登 生
佐 佐 佐
篠 篠 篠
吉 吉 吉

杵 杵 杵
家 家 家
弥 弥 弥
智 智 智
弘 弘 弘

低音 杵屋 佐々篠

笛 四宮 信行

鳴物 望月 太意輔

杵 杵 杵
屋 屋 屋
佐 佐 佐
乃 雅 嶋
篠 篠 篠

杵 杵 杵
屋 屋 屋
佐 佐 佐
和 和 和
篠 篠 篠

宮城道雄作曲

田園の春

尺八

高吉井福大市坂貝田中英天杉七垣中村市酒田湊山原飯山秋濱西
 橋成上田久保原東出渕村羽口條本川上橋井中川郷藤本野野岡
 明明颯羊明颯作光渦詔宗風珖峰城悠聖聖雄欄妙雄惠方眉鳴羊黎
 颯幸晨泉聖恂山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山

第一
箏

第二
箏

内	原	河	須	谷	広	田	岡	河	市	中	内
田	田	野	見	藤	瀬	村	西	野	原	南	田
隆	陽	美	春	安	美	知	惠	悦	尚	真	道
章	子	紀	恵	子	喜	美	巳	子	己	由	子

四 国 路

前 田 和 男 作 曲

曲 (財団法人 日本当道音楽会田中社中)

第一 箏

仁 木 古 都 風
宮 武 古 都 浩
佐 藤 仁 風
万 石 由 紀

第二 箏

田 中 古 都 夕
井 原 夕 月
林 古 都 奈
佐 藤 古 都 夏
岡 本 知 代 美

十七 絃
吉 崎 夕 華

尺 八
榎 本 眉 風

大 西 晴 一 二
宮 武 晴 園

徳島県邦楽協会役員

(五十音順)

役職名

氏名

所属団体名

連絡先

電話

顧問

石川良彦

四国放送会長

徳島市中徳島町三丁目

二三一二二二

〃

井端好美

徳島新聞社社長

中徳島町二丁目

二三一二二二

〃

河合英一

阿波銀行会長

西船場町二丁目二四一一

二三一三三二

〃

近藤通弘

県教育委員会教育長

万代町二丁目

二二一三二二

〃

布谷洋勝

NHK徳島放送局長

南前川町二丁目四

二六九五九七〇

〃

柳本旭

郷土文化会館館長

藍場町二丁目

二二一八二二

〃

春名完二

長唄みなじ会

南二軒屋町一丁目二五五

二五二三六二

〃

天野義雄

喜多流喜陽会

鳴門市撫養町斎田字岩崎九九

八六〇三三八

〃

杵屋佐篠

佐苗会

徳島市山城町東浜傍五二二八

二二一五六八

〃

沢田青葉

徳島県支部

富田橋四丁目五六

五三一五五〇

〃

西岡黎山

徳島県支部

南新町一丁目

五三一九八一

〃

野崎瑞鳳

瑞鳳流日本吟詠会

一番町一丁目

二二一二七七

〃

浜高公

県教育委員会文化課長

万代町一丁目

二二一三六〇

〃

榊本眉風

琴古流尺八美風会

下助任町四丁目四

五三三九五二

〃

吉田鶯風

吟詠鶯風流

八万町下福万一一六

六八一四四五二

〃

浅香寿穂

長唄みなじ会

中吉野町三丁目七六一三

二二一三六八

〃

内田華水

欽水流吟詠会

末広四丁目五二四一一

二二一〇五一三

〃

大櫛亜童

尺八琴古流竹友会

寺島本町東三丁目

五二一九〇五六

〃

小笠原悠二

県教育委員会文化課

万代町一丁目

二二一三六〇

〃

榎原春箏

財団法人日本当道音楽会徳島県支部

小松島市堀川町二一三五〇

小松島二一〇五九

〃

杵家弥代弘

杵家会徳島支部

徳島市助任本町六丁目三

五三九五五八

〃

椎野瑞城

大和陽心流瑞城会

八万町大坪一三八

六八一〇二九

〃

中田昇鶴

財団法人阿波人形浄瑠璃振興会

佐古一番町一五一六

五二一九六七

〃

長田岳心

岳心流吟詠会

国府町桜間字万ノ内五四

四二二三八〇

〃

浜井弘保

竹保流尺八徳島県支部

南昭和町四丁目七六一六

五四一六〇七〇

〃

浜野羊山

徳島県支部

海部郡日和佐町日和佐浦一九〇

日和佐七一四八〇

〃

林清宏

清宏会

徳島市勝占町外敷地二丁目

六九一三二〇四

〃

松永和三

かりがね会

応神町吉成字有天四四一一

四一三〇一一

〃

宮岡和光

和光流東山吟詠会

北常三島町二二三

二三一〇七四

〃

八木瑞堂

揚心流日本朗詠会

徳島町城内六一八八

五二一五五五九

〃

岩崎瑞峰

神伝心流瑞峰会

中前川町四丁目

二五二三五四五

〃

林秀懂

上田流竹龍会

板野郡北島町太郎八須外開二一五四

九八一三六〇四

〃

秋野鳴山

都山流尺八楽会

小松島市小松島町三条通り

小松島一〇九一五

〃

佐藤州泉

哲泉流日本吟詩学会

美馬郡脇町猪尻

脇町二一〇四四一

〃

監事

〃

副会

〃

会

〃

計

〃

理

〃

事

〃

事

カネボウ薬品株式会社

本社 東京都港区元赤坂1の3-12
電話 03(3478)4441

株式会社 トクヤク

徳島市川内町加賀須野463番地23 〒771-01
Tel:0886-65-3131 Fax:0886-65-3138

大鵬薬品工業株式会社

本社 東京都千代田区神田司町2-9
電話 03(3291)4527

萬有製薬株式会社

本社 東京都中央区日本橋本町2丁目7番地
電話 03(3270)大代表7551

日本臓器製薬株式会社

本社 大阪市東区平野町2丁目10番地
電話 大阪(06)203-0441

持田製薬株式会社

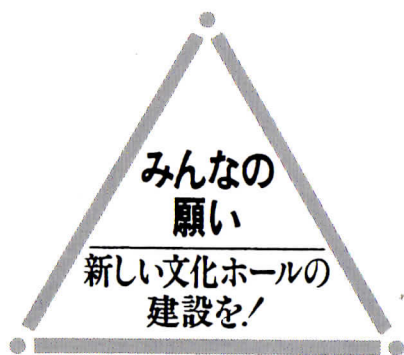
本社 東京都新宿区四谷1-1
電話 03(3359)5181

中外製薬株式会社

本社 東京都中央区京橋2丁目1番9号
電話 03(3273)0840

株式会社 大塚製薬工場

徳島支店 板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-1
電話 0886(99)7711



鉄分は女性の味方です。



•350g

●お求めは薬局・薬店・有名デパート食品売場などどうぞ。

からだにやさしい、ひとくちタイプの
ヘルシーゼリー。

鉄分がさわやかな梅のおいしさと
ナイスブレンドされました。

明治乳業のFe梅ゼリーは、鉄分を梅肉とともに特殊な製法によりゼリー状にした、風味豊かな保健食品です。これ1つぶには、鉄分が約4mg、ビタミンCが約18mg含まれ、エネルギーは1つあたり約16kcalです。鉄分を食品のカタチでおいしく手軽に摂取するのに最適です。ヤングレディーからシルバーエイジのみなさままでどなたにもおすすめできるFe梅ゼリー。健康美のためにもぜひお試しください。

Fe梅 JELLY

Fe梅ゼリー